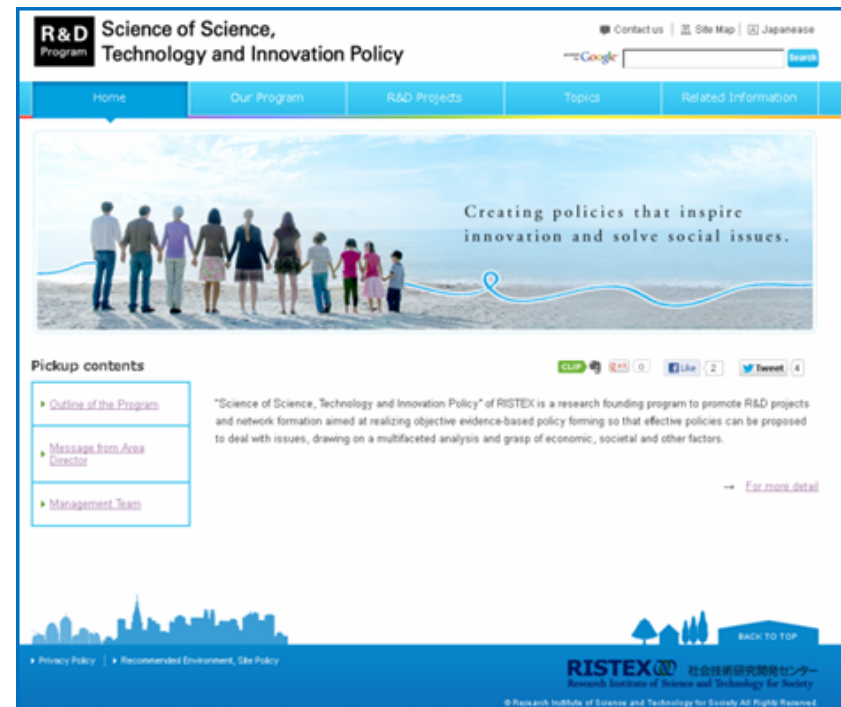


「科学技術イノベーション政策のための科学 研究開発プログラム」

プログラム総括 森田 朗
国立社会保障・人口問題研究所 所長



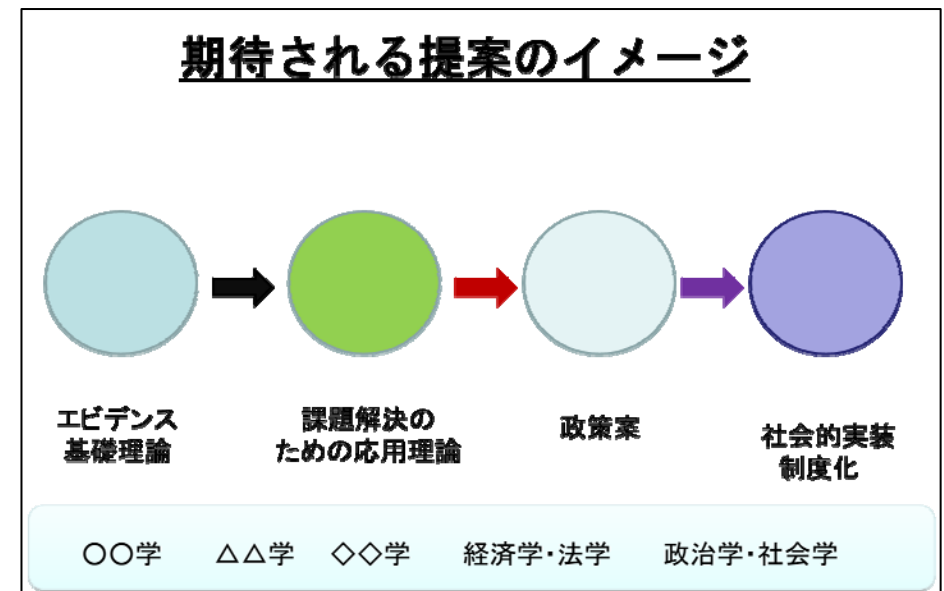
背景

- 客観的根拠にもとづく政策形成の必要性 -

- 必ずしも十分な客観的根拠に基づく研究開発投資が行われていない
- 基礎的な研究の成果を社会の課題解決、発展を図るための制度化・イノベーションに結びつけられていない
- 優れた政策アイデアが、国民との不十分なコミュニケーションのために実践されないケースがある

科学技術イノベーション政策を
形成するための

客観的根拠に基づく方法論は
依然として、欠如したまま



科学技術イノベーション政策のための科学 研究開発プログラム

▶ プログラム総括

▶ プログラムアドバイザー

総括への専門的助言・提案の
事前評価

プロジェクト

公募により研究開発を実施

研究開発プロジェクト1

研究開発プロジェクト2

研究開発プロジェクト3

研究開発プロジェクト4

研究開発プロジェクト5

...

企画調査

構想は優れているものの、研究開発プロジェクトとして実施するためには、さらなる具体化が必要とされた提案。



プログラム総括



アドバイザー



RISTEX担当

- 公募・選考
- 研究開発計画への助言
- 推進支援
- アウトリーチ活動



プロジェクト実施者



<http://www.ristex.jp/stipolicy/index.html>

科学技術イノベーション政策における「政策のための科学」の推進

事業全体の目標

- 様々な社会的課題のうち、科学技術イノベーション政策によって解決すべき課題を科学的な視野から発見・発掘すること。
- 政策課題を同定し、経済的・社会的影響分析を盛り込んで選択可能な複数の政策オプションを立案すること。
- 立案された政策オプションを適切に選択・決定・実施することにより、政策課題の解決を目指すこと。

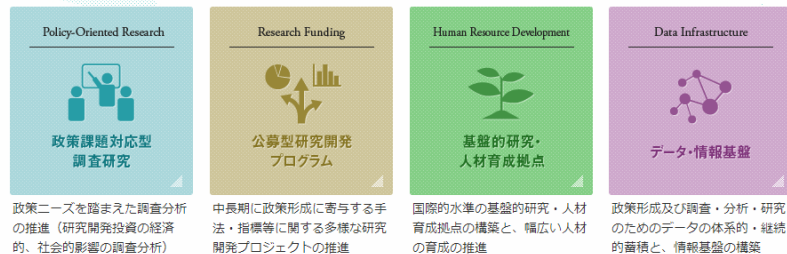
SciREX
科学技術イノベーション政策における
「政策のための科学」

未来を変える科学の一步

「政策のための科学」とは？ ● 推進委員会 ● プログラム紹介 ●
「政策のための科学」を学ぶ ● お知らせ・イベント ● 海外動向 ●

<http://scirex.mext.go.jp>

科学技術イノベーション政策における「政策のための科学」推進事業 (SciREX: Science for RE-designing Science, Technology and Innovation Policy) は、科学技術イノベーション政策において、客観的根拠 (エビデンス) に基づく合理的なプロセスによる政策形成の実現のため、政策形成プロセスの進化と、関連する学際的学問分野の開拓を目指した取り組みを推進します。



➤ 応募数および採択数

	応募数	採択数	企画調査
2011 年度	56	6	2
2012 年度	43	5	2
2013 年度	43	5	2
2014 年度	選考中 (今年度企画調査はなし)		

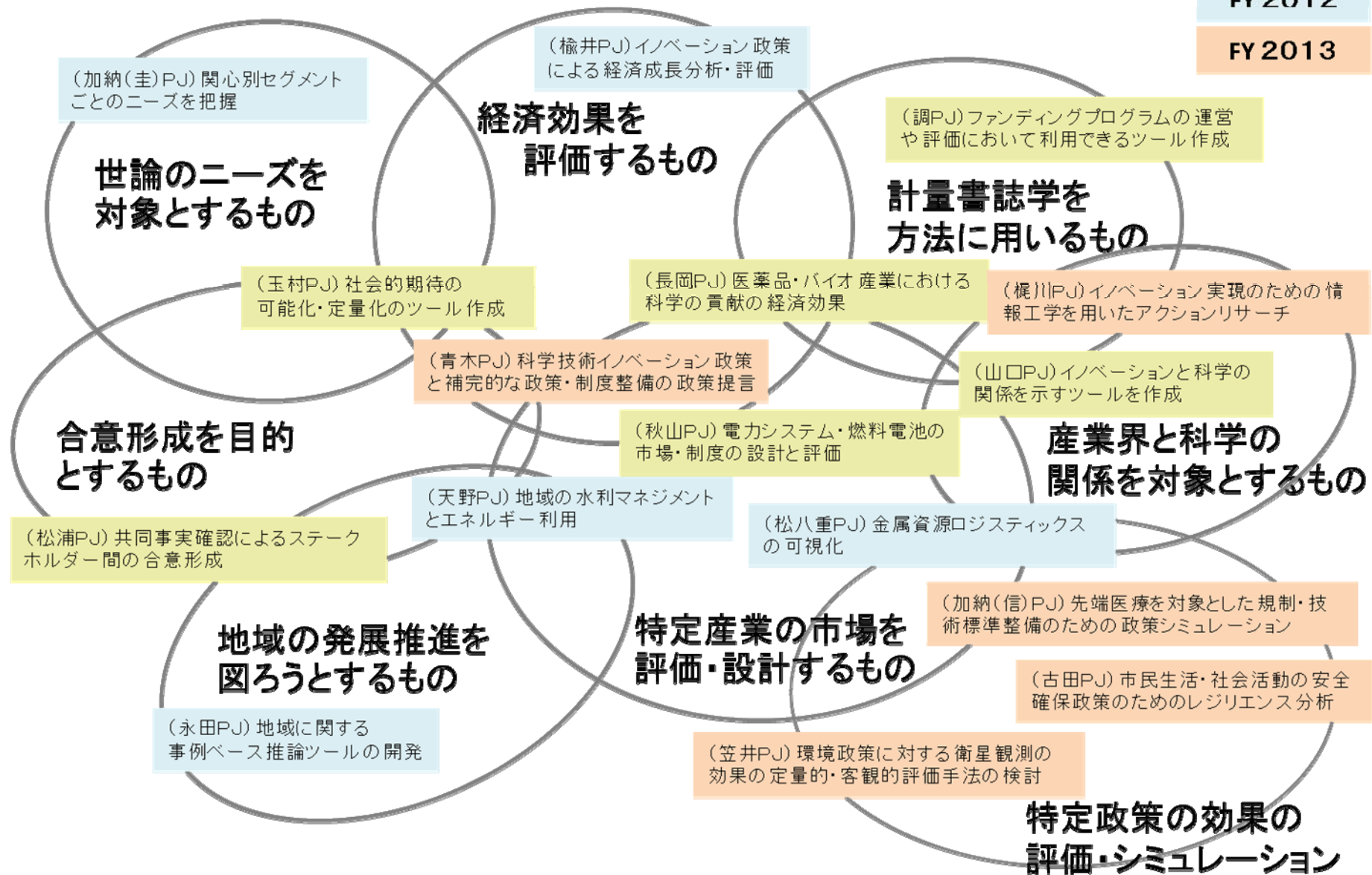
➤ サポート期間: 上限3年間

(参考) RISTEX「科学技術イノベーション政策のための科学 研究開発プログラム」
採択 プロジェクトの概要

FY 2011

FY 2012

FY 2013



公募選考方法の工夫

通常枠・特別枠を設け、
異なる観点に注目して選考

【通常枠】

政策のためのエビデンスを与えるうえで
有意義であり、かつ、政策のための科学と
して新規性や独自性を追求する提案を求
めます。

【特別枠】

特定の社会的課題の解決を対象とし、
科学技術の研究から、成果を社会で生か
す政策・制度の形成段階の議論まで、を含
む提案を求めます。

2段階のプロセスで選考
(通常枠・特別枠共通)

【一次選考】

簡単なコンセプトを提出していただき、
プログラム目的に合うものを、二次選考
の対象とします。

【二次選考】

一次選考通過提案に対し、詳細な提案
書を提出していただき、以降はこれまで
の選考方法に準じて、採択プロジェクトを
決定します。